

# 相次ぐ不祥事 再発防止を!

新宿区政における不祥事が相次いで発覚しています。  
そのほとんどが内部告発などの通報で発覚しています。

①学童クラブや児童館、地域交流館・シニア活動館の運営を担うワーカーズコープが、学童クラブや児童館で**職員数を水増し**する虚偽報告を行い、区からお金を詐取。②2020年、区内の認可保育園を運営する東京児童協会が**職員数を水増し**。委託費800万円を区に返還。③新宿区リサイクル活動センターを運営する区の外郭団体（仕事支援センター）が、**労働基準法違反**で労働基準監督署から2度も是正勧告。④区職員の**超過勤務水増し**など勤務時間虚偽申請による**給与詐取**。⑤区職員が**大麻所持**で逮捕・起訴。⑥保健センターに提出した申請書（区民の個人情報）を滅失（なくした）。

①②③は区としての公表をしておらず、④も内容を隠した標題で公表。隠蔽体質が問われます。法令違反と税金が不正に使われた事件は、区の管理監督責任が厳しく問われます。日本共産党は事実究明と区の対応について徹底追及し、再発防止策を提案しました。

# 神宮外苑の再開発 世界からも「待った!」

ユネスコの諮問機関イコモスが9月7日、神宮外苑の再開発見直しを求め文化的遺産の破壊に警告するヘリテージアラートを発出。その翌日、新宿区は神宮外苑の樹木伐採申請に対し2回目の許可を出しました。しかし東京都が9月12日、樹木の保全計画案を示すよう事業者に要請したため、9月末に開始予定だった樹木の伐採が年明け以降に延期されています。まさに区民・国民の声が事態を大きく動かしています。

今定例会には、樹木の伐採を中止し移植計画の再考を求める陳情が区民から寄せられ、日本共産党は陳情者に賛同し採択すべきと主張しましたが、自民党などが不採択を主張し賛同しなかったため陳情は審査未了（議題から消される）となりました。



# インボイス制度の 中止を!



「20代30代の経理担当者を対象に行われたアンケート」では、インボイスを導入されたら業務負担が増えるため約4割の方が退職・転職を考えていると回答しています。「#ストップインボイス」ネット署名は56万筆（11/1現在）余も集まっています。

今定例会には、インボイス制度の中止を求める陳情が署名322筆とともに寄せられました。日本共産党は、「声優の方に聞くと多くが1000万円以下の免税業者で、事実上納税を強要されてしまう。インボイス導入により芸術、文化がダメージを受ける。」と陳情の採択を主張しましたが、公明党が「インボイス制度の円滑な導入と定着を求めている」などと発言するなど意見の一致が見られず審査未了（議題から消される）となりました。



# 健康保険証を 廃止しないで!



福祉健康委員会に、現行の健康保険証の存続を求める陳情が医師や歯科医師団体など3者から出されました。政府は、現行の健康保険証を来年の秋に廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を既に成立させていますが、他人の情報が紐づけられていたり、資格無効とされたり、窓口負担割合が違っていたり、トラブルが多発し、多くの患者、国民が不安を抱えています。

陳情者は、マイナ保険証で資格確認できない場合の医療機関の負担や、マイナ保険証を持たない人全員に発行する「資格確認書」の費用負担などを解決するため、現行の健康保険証の存続を国に求めるべきと訴えていました。

日本共産党は陳情の採択を主張しましたが、そうではない会派もあつたため意見が一致せず、審査未了（議題から消される）という結果になりました。



# 区長に聞く力はあるのか?! 民主主義はどこへ?

「区長と話そうしんじゅくトーク」は今回、区政史上はじめて事前申込制で1人1会場しか申込を認めないというやり方に🤔。新宿区第三次実行計画（素案）の地域説明会を兼ねて実施されましたが、（素案）が発表されたのは「区長トーク」締切後でした。事前申込者は10会場で57人、少ない会場は2~3人です。町会役員などを招待

すると言いますが、区民の意見を広く聴くはずの「区長トーク」や地域説明会が排除の論理で良いのでしょうか?日本共産党は「直接会場に来た人を追い返すような事が無いように」申し入れを行い、当日参加も可能なことを確認しました。

